

Deotex**PANTHERA**

Racing Team

Produced by PLOT

Deotex PANTHERA PLOT NEWS RELEASE

2007 MF全日本ロードレース選手権シリーズ第 戦
スーパーバイクレース ぽてぎ

2007

Vol.

1

メインスポンサーに消臭機能付き繊維ブランドDeotex(デオテックス)を迎え、マシンはスズキGSX-R1000へスイッチ、ライダーに今野由寛を起用と全く新しい体制に生まれ変わったパンテラプロットの新たな戦いがここから始まる。

世界戦からの復帰ライダー、他クラスからのコンバートライダーとますます層の厚くなる全日本ロードレースJSB1000クラスに採用された新方式「ノックアウト」予選がレースの行方をますます混沌とさせた。



3月31日 予選レポート 気温11 天気：雨 路面：ウェット

前日の暖かさが嘘のような冷たい雨の一日となった。午前中の予選 1回目で基準タイム以上を出した3台によって15分間のノックアウト方式第1セッションが行われた。第1セッション上位20位はなんなくクリアし、短いインターバルを挟んで上位9台を決める第2セッション進んだ。

ノックアウト予選はセッション時間が短いため序盤から各車アタックに入り、目まぐるしく順位を入れ替える。序盤伸び悩んだタイムだが4周目2'08"165を叩き出し一時12位へつける。しかしその後タイムを更新することができず1番グリッドが確定し予選を終えた。

4月1日 決勝レポート 気温24 天気：晴れ 路面：ドライ

昨日とは打って変わって過ごしやすい陽気の中2007年の全日本ロードレースJSB1000クラスのスタートが切られた。スタート後の混戦をうまく抜け出しポジションアップの12位で1周目を終える。しかし3周目以降ペースを上げてきたライダーにかわされ順位を徐々に下げる。しかし終盤、一度前に出られた波多野選手(モトマップSUPPLY)を数週に渡って攻めた後、最終ラップのコーナーで見事攻略。15位でレースを終え2007年最初のレースを無事にポイント獲得で終えることとなった。

ライダー 今野由寛のコメント

新方式の予選は2周目に残るという最低条件はクリアできたが、第3セッションへの進出できるまでタイムを伸ばすことができなかった。予選中のタイヤの使い方や交換のタイミングなど今後の課題だと感じた。

決勝は序盤上位のペースについていくことができたが、中盤以降ペースを上げてきた他のライダーについていくことができなかった。ただ最終ラップにベストタイムを出すなど現状でのベストは尽くせたと思う。まだまだ自分は発展途上なのでさらに進化できるようがんばります。今後の走りに注目してください。

常に前を向いて戦い続けるJSB1000 #53 DeotexPANTHERA PLOTに皆様の熱い声援お待ちしております！！

NEXT ROUND 4/14・15 SUZUKA 2&4

Deotex**DENSO**
IRIDIUM POWER**BRIDGESTONE****SUZUKI**
スズキバイクショップ**三ツ星****NISIN****WP****D.I.D****Shell ADVANCE**
MOTORCYCLE OILS**Advance**
Quality Tools & Controls